



市長メッセージ
もりなか たかふみ
森中 高史市長の
元気ヤマモリ

令和5年度が始まりました

4月となり、令和5年度がスタートしました。進学や就職などの新たな門出を迎えられる皆さまに、心からお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症について、3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。このことを受け、市役所においても、窓口業務に当たる職員を除き、原則個人の判断とし、私も、高齢の方と接する場合などを除き、マスクをはずして公務に当たっています。

また、感染症法上の位置づけが5月8日(月)から5類感染症に変更され、市民の皆さまへの感染対策に関する協力要請などの各種措置が終了します。

手指消毒などの基本的な感染対策は継続し、感染拡大時の備えを講じつつ、新型コロナで制限されていた、地域でのさまざまな社会経済文化活動を本格的に再開し、活性化していく年度としてまいります!

さて、令和5年度は予算編成時期に市長選挙が実施されたことから、私が掲げた政策に係る新規事業などについては、6月定例会月会議での予算化を目指すこととし、当初予算は義務的経費や継続的事業など、当初から実施する必要があるものを中心とした「骨格的予算」としています。

「子育てするなら守山!」「住むなら守山!」「働くなら守山!」「市民が主役の守山!」の4つを重点施策とし、取り組んでまいります(詳細は8~12頁に記載しています)。

8月中旬に暫定供用開始する新庁舎『つなぐ、守の舎』では、市民利便性向上のため、窓口コンシェルジュの配置とICT活用による「窓口のスマート化」など、「誰



一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進します。

また、11月には北部図書館や(仮称)伊勢遺跡史跡公園がオープン予定です。北部図書館を活用し、「読書日本一のみち」を目指していくとともに、伊勢遺跡だけでなく、市民の皆さまに市内の歴史・文化財に触れていただく機会を増やしていくなど、施設の有効活用を図ります。

今年度は、JR守山駅東口のあり方や西口の渋滞対策の検討、湖岸における民間活力による活性化、第3期教育行政大綱の策定、環境基本計画の見直しなど、重要な政策の方向性を議論する大事な一年です。効果的な情報発信に努め、市民や市議会の皆さまとしっかり議論を進めてまいります。

最後になりましたが、3月31日をもって、約7年6か月に渡り市政発展に多大な貢献をいただいた、川那辺守雄副市長が勇退されました。これまでのご功績を称えるとともに、ご尽力に深く感謝申し上げます。

また、本日より福井 靖氏が副市長に就任いたしました。福井氏は、本市の教育部長、総務部長を歴任するなど、豊富な知識経験を有しており、これからの施策の推進に存分に力を発揮いただける方です。

10年後、20年後を見据え、人・自然・びわ湖、みんなが幸せなサステナブルなまちづくりを市民の皆さまとともに進めてまいりますので、ご支援ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

ピックアップ

副市長に福井 靖氏が就任

守山市議会3月定例会月会議の最終日(3月28日)、副市長に福井 靖氏を選任する人事案件が追加提案され、同意されました。副市長の任期は、4月1日(令和9年3月31日)の4年間です。

就任にあたって



副市長 福井 靖

このたび副市長を拝命いたしました。

市民の皆さまの住みやすさの向上と市政の発展のため、微力ではありますが、森中 高史市長を支え、あらたなる意欲をもって、10年後、20年後を見据え、「人・自然・びわ湖、みんなが幸せなサステナブルなまちづくり」を市民の皆さま、市職員とともに進めることに専心努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

川那辺 守雄 副市長が退任



前副市長 川那辺 守雄

私は、平成27年9月15日より約7年6か月、副市長として宮本 和宏前市長の補佐役を担ってまいりました。この間、前市長とともに環境セン

ター更新をはじめ、多くの課題に向き合い、「住みやすさ日本一が実感できるまちづくり」に全力で取り組んでまいりました。この重責を全うできましたのも、市民のみなさまの深いご理解とご指導によるものであり、心から厚くお礼と感謝を申し上げます。ますます発展する守山市を、今後は一市民として応援してまいります。今後の市民の皆さまのますますのご多幸、ご健勝をご祈念申し上げます。退任のあいさついたします。